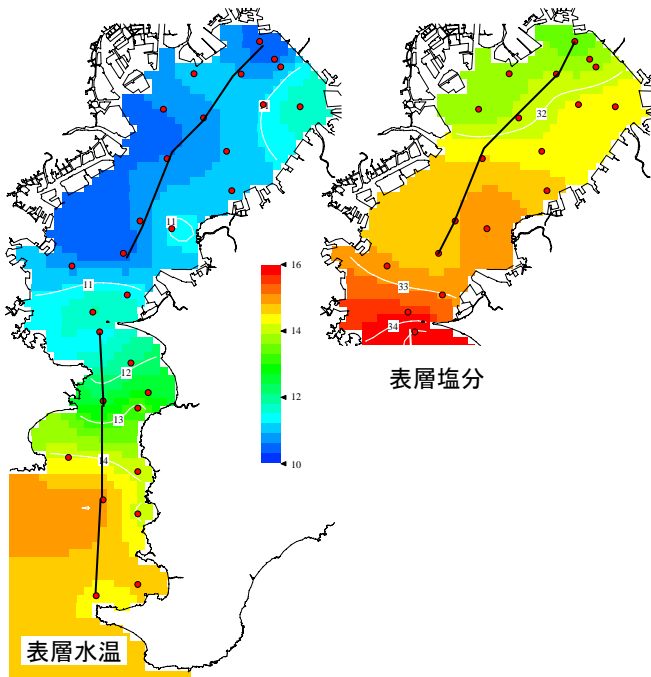


# 東京湾海況情報 19-12

東京湾水質調査結果（平成20年3月分）

平成20年3月24日  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072  
 E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp)

## 東京湾水質調査結果(平成20年3月分)



表層水温

表層塩分

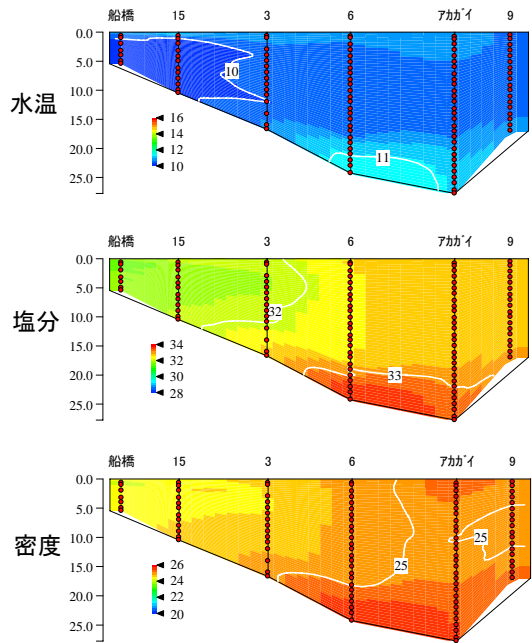
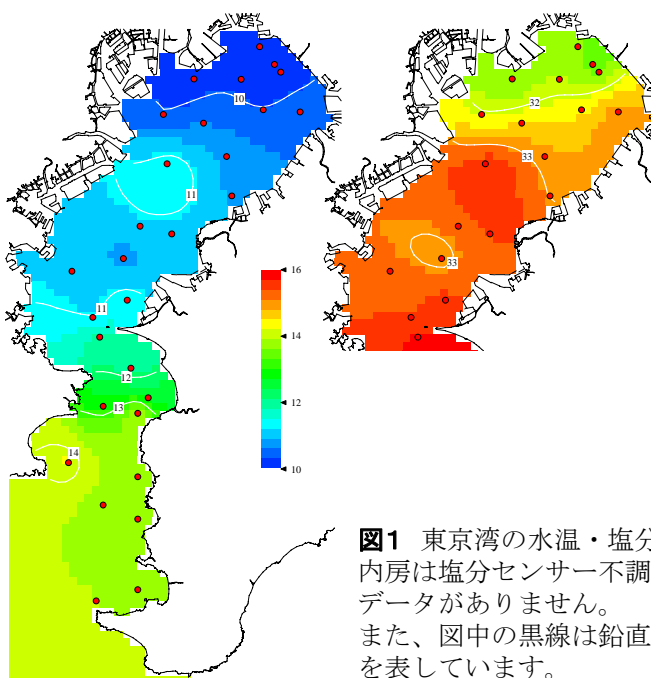


図2 内湾の鉛直分布



底層(または50m)水温

図1 東京湾の水温・塩分分布  
 内房は塩分センサー不調につき  
 データがありません。  
 また、図中の黒線は鉛直縦断ライン  
 を表しています。

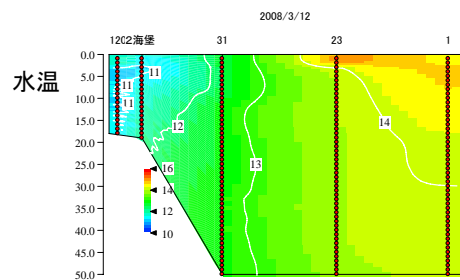


図3 内房の鉛直分布  
 内房の塩分及び密度のデータは  
 ありません。

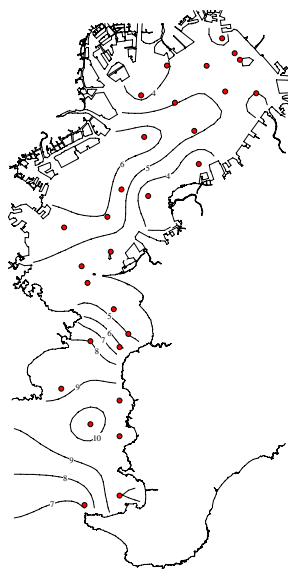


図4 透明度の分布(単位:m)

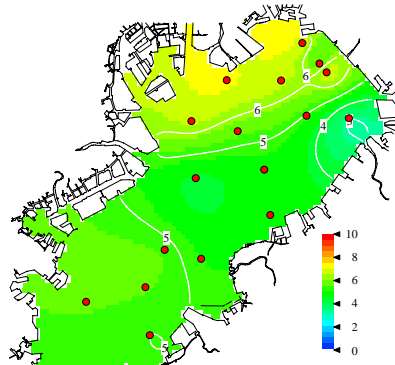
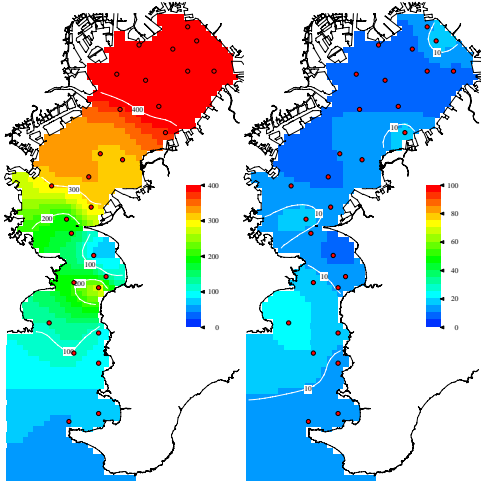


図5 内湾底層のDO分布  
(単位:ml/L)

表層の分布(左:DIN, 右:PO<sub>4</sub>-P)



鉛直分布(内湾)

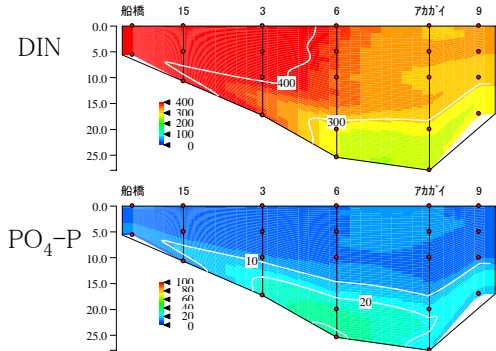


図6 栄養塩の分布(単位:μg/L)

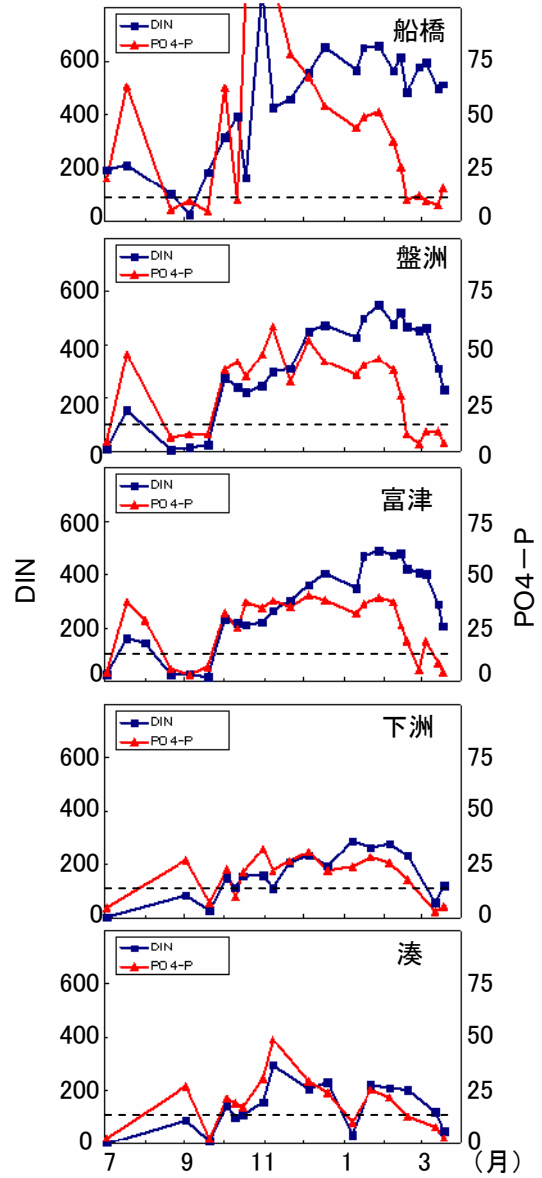


図7 栄養塩の変化(単位:μg/L)

(破線はノリに影響を与えると言われる閾値)

**水温・塩分(図1~3、表1)**

表層水温は、内湾10~12℃(平年並み)、内房11~15℃(平年よりやや低め)でした。内湾の表層塩分は、30.7~33.0(平年よりやや高め)でした。

南北縦断ラインでの水温と塩分の鉛直分布は、内湾は水温9~12℃、塩分31.2~33.6でした。内房は、水温10~15℃でした。

**赤潮の状況(図4、表1)**

2月中旬から内湾の広い範囲で濃い赤潮が発生していましたが、3月13日の時点では赤潮はほぼ終息していました。

赤潮が発達した2月中旬頃のプランクトン優占種はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)およびキートケロス(*Chaetoceros* sp.)でした。3月11日の調査では、ケイ藻のキートケロス(*Chaetoceros* sp.)が優占していました。また、ケイ藻のユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)も見られました。

千葉県赤潮の目安(内湾海域)は  
「海色:オリーブ色~褐色, 溶存酸素の飽和度:150%以上, 透明度:1.5m以下,  
pH:8.5以上, クロロフィルa量:50 μg/L以上」としています。

**貧酸素水塊の状況(図5、表1)** 貧酸素水塊は見られませんでした。

**栄養塩類(図6~7、表1)**

表層の溶存無機態窒素(DIN)は、内湾200~500 μg/L(平年よりやや低め)、内房30~300 μg/L(平年より低め)でした。表層のリン酸態リン(PO4-P)は、内湾、内房ともに20 μg/L以下(ほぼ平年並み)でした。DIN、リン酸態リンともに、先月の調査より減少しました。

2月中旬からの赤潮により、各ノリ漁場ともリン酸態リンが非常に少なくなりました。栄養塩不足による色落ち等に注意が必要です。

**黒潮の動き(図8)**

3月13日の一都三県漁海況速報によると、黒潮は遠州灘沖33°N付近を東進し、三宅島付近を通過し房総半島沖を東北東に流れていました。湾口付近への顕著な影響は少ないものと思われます。

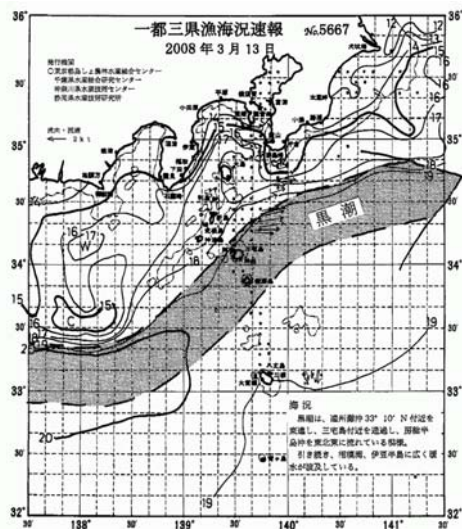


図8 一都三県漁海況速報

資料: 東京湾水質調査(3/13:内湾、3/11:内房)  
海上保安庁(千葉灯標モニタリングポスト)  
一都三県漁海況速報, 東京湾口海況図

表1 主な調査点の水質調査結果(表面)

調査年月日:平成20年3月13日(内湾)、3月11日(内房)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 (μg/L)	リン酸 態リン (μg/L)	アンモニア 態窒素 (μg/L)	クロロフィ ルa量 (μg/L)
船橋	3.8 (3.1)	10.2 (10.6)	30.66 (30.88)	8.4 (8.5)	6.7 (6.8)	494 (479)	8 (14)		30 (80)
st.15	4.8 (3.3)	10.7 (10.9)	31.40 (31.16)	8.4 (8.5)	6.6 (5.9)	425 (465)	2 (6)		8 (74)
st.3	5.0 (3.9)	10.5 (10.7)	31.52 (31.21)	8.4 (8.5)	5.4 (5.3)	469 (496)	2 (6)		17 (82)
st.6	6.5 (4.1)	10.3 (10.7)	32.22 (31.25)	8.3 (8.4)	4.1 (4.5)	374 (500)	5 (7)		15 (86)
st.9	5.8 (4.7)	10.2 (10.8)	32.46 (31.81)	8.3 (8.4)	5.3 (5.7)	319 (401)	3 (7)		12 (56)
盤洲Cブイ	3.2 (3.6)	10.8 (11.4)	32.42 (31.56)	8.3 (8.4)	4.7 (5.6)	376 (442)	12 (11)		23 (73)
st.8 (盤洲Aブイ)	3.3 (3.9)	11.0 (11.0)	32.94 (31.81)	8.3 (8.4)	4.7 (5.1)	309 (419)	9 (9)		15 (68)
富津ベタ	4.0 (4.7)	11.3 (11.1)	33.04 (31.85)	8.2 (8.3)	5.0 (5.8)	291 (336)	8 (8)		19 (37)
第2海(下)	4.5 (6.4)	11.1 (11.7)				159 (291)	8 (9)		7 (41)
st.31	8.0 (8.2)	12.3 (12.5)				191 (275)	14 (9)		13 (35)
st.23	10.5 (18.9)	14.9 (15.1)				98 (114)	15 (11)		29 (16)
st.1 (湊沖)	7.0 (17.6)	14.3 (15.0)				38 (101)	6 (12)		6 (16)
st.10 (下洲沖)	4.5 (7.1)	11.9 (12.6)				55 (228)	3 (9)		7 (29)
st.12 (湊沖)	5.0 (7.4)	12.6 (12.9)				122 (207)	8 (8)		11 (26)
st.22 (保田沖)	9.5 (13.8)	13.9 (15.1)				83 (115)	11 (10)		12 (15)
st.24 (富浦沖)	9.0 (16.9)	13.8 (15.2)				65 (105)	7 (11)		4 (15)
st.26 (館山湾内)	10.0 (17.1)	14.4 (15.5)				58 (98)	8 (11)		5 (15)

( ) : 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去7年分)  
※透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮, DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。